

*会長の挨拶

2014年 始まりました。

社会貢献活動、クラブ行事、会員の皆様の協力がクラブ運営に必要です。今年も宜しくお願いします。

一文字ヨットクラブ 会長 小山正明 (ゆうばれ)

・会長の活動予定

- ① ・クラブの社会的な代表として対外交渉し、クラブの纏めを行う(規約7条)
(特に今年からは尼管との協議及びプロジェクトチームとのミーティングは多くなると思います)
- ② ・クラブ全般の安全確認とクラブ活動の支援 (夏祭り、DIYクラブなどの実行委員会)
- ③ 泊地プロジェクトチームへの支援と尼管交渉の窓口支援

*今年の各委員長の活動予定

・広報委員長：児玉副会長 (コントレール)

- ① 文書：会報発行 (3~4回予定)、お知らせハガキ (義務作業や夏祭り、総会出欠など随時)、総会議事録
- ② 夏祭り実行委員会 (7月26日)：今年も盛大にやりましょう！
- ③ クラブハウス (西) の整理整頓と保守、DIYクラブで施設の保守
- ④ IYC ホームページ、bbsの管理と更新
- ⑤ クラブ旗の管理 (随時、古い旗と交換しています)、東ハウスにも保管 (担当：多田委員)
- ⑥ クラブ員の名簿の管理と更新 (住所・TEL・メルアド・艇種/艇名・船検番号の変更はご連絡を！)

・安全委員長：白井さん (SUNRISE) 担当委員：大蔵さん、加地さん、山ノ川さん (AED)、谷河さん (ResQ)

- ① 係留状態の目視点検 (随時)
- ② IYC 艇の船検期限の確認と報告・・・ (3月下旬ころ)
- ③ 配線用木材手すり取付け (2月)
- ④ 安全講習会：発煙筒使用方法 (11月16日13時頃~)
- ⑤ AEDの保守管理/バッテリーの定期的な目視点検 (毎月1回) 担当；加地委員
- ⑥ 有害昆虫用エアゾール剤の配布 (東西)・・・3月末
- ⑦ 泊地緊急用はしご及び共有棧橋ライフライン (ロープ・ポール) の点検 (随時)
- ⑧ 供用棧橋救命浮環ハンガーの点検 (7基)・・・4月
- ⑨ 東出入り口ポンツーン渡り棧橋の補強作業 (随時)
- ⑩ クルージングの参考に体験談募集・・・(例) 航海中のエンジントラブル等 (原因・処置)・クルージング中危険を伴ったこと・気象・漁港でトラブル等・停泊にお勧め港等・その他
直接安全委員か掲示板にお知らせください。

・泊地委員長：横尾さん (TAM)

- ① 共同作業：棧橋塗装 (4月13日)、ジンク交換 (5月18日、11月16日)
- ② 台風接近、通過後の見回り点検
- ③ 尼管との契約更新書類の作成と手続き

・施設管理委員長：高橋さん (海鈴) 担当委員：大蔵さん (東方面施設)

- ① 供用棧橋の配電工事、クラブハウス、備品庫、作業場などの整理整頓、廃棄物の管理

② 東ハウス管理／衛生設備、それに連なる業務は大蔵さんが安全委員兼務で支援

③ DIY クラブ、夏祭り準備

DIY クラブでは新たなメンバーを募集中です、お得意な方は（準会員、登録クルーも）高橋委員長までどうぞ！

特典（手弁当、自前の工具で得意なものだけやれば良い、クラブ員から感謝され、やりがいがあります・・・）

④ 義務作業出欠の管理（規約 6 条の 7 項：特別負担金）

尚、代替日に作業 OK、準会員や代理人でも OK、それでも不可の会員は特別負担金/1 万円を会計に納入の事）

・社会貢献委員長：上浦さん（シーサー）担当委員：岩崎さん

① 招待セ〜リング（障がい者・児童養護施設・ボーイスカウトなど）4 回予定（詳細はクラブ活動日程参照）

**2008 年より、毎年数回開催して 6 年間で通算 19 回/招待者は延 387 名にもなりました。

クラブの社会貢献活動は IYC のクラブ活動の根幹でもあり、尼管を始め、内外も一目おいています。

また夏祭りにも養護施設の子供たちを招待して喜んで頂き、子供たちは今年も楽しみにしています。

② 缶トリー作戦（周辺道路のポイ捨て空き缶や、不法投棄ゴミをクラブ員の共同作業で清掃）3〜4 回予定

**2008 年より、毎年数回実施、6 年間で通算 18 回になり、ゴミ袋の数も通算 350 袋にもなりました。

③ エコキャブキャンペーン：5 年間で 7 万個（80 人分のポリワクチン）を回収しました！

**泊地移動準備や保管場所の問題により、一時回収を中断していますが回収箱は有りますので投入してください

・運営委員長：漆川さん（マーチ）

① 合同クル〜ジング：6 月 14〜15 日、9 月 13〜14 日（行き先は後日 b b s やクラブ掲示板に報告）

② クラブ帆走会：10 月 26 日

③ クラブ員の皆様の交流、親睦が目的の催しですので、出来るだけ多くのクラブ員のご参加をお願いします。

* 2014 年のクラブ行事日程（一覧表）

月日	クラブ行事	備考	時間	担当
1/11	合同委員長会議		13 時〜	広報
同上	初回 Project Team Meeting	2 回目 1/18（13 時〜）	14 時〜	黒岡 Leader
2 月	16 日 or 23 日手すり取り付け	配線用の木材手すり取り付け	随時	安全/施設
4/13	栈橋塗装	義務作業（ランチあり）	10 時〜	泊地/施設 S
4/20	体験セ〜リング	豊中市障害者施設「あさひ会」	10 時〜13 時	社会貢献
5/11	体験セ〜リング	西宮市児童養護施設「三光塾」	10 時〜13 時	社会貢献
5/18	杭のジंक交換/手すり完成	義務作業（ランチあり）缶トリー	10 時〜13 時	泊地/施設
6/8	体験セ〜リング&缶トリー	西宮市ボーイスカウト	10 時〜	社会貢献
6/14-15	クラブ合同クル〜ジング	目的地未定	随時	運営
7/26	クラブの夏祭り	芦屋カーニバル（花火）	15 時〜	実行委員会
7/27	体験セ〜リング&缶トリー	カブスカウト	10 時〜13 時	社会貢献
9/13-14	クラブ合同クル〜ジング	目的地未定	随時	運営
10/26	クラブ帆走会		10 時〜	運営
11/16	杭のジंक交換&缶トリー	義務作業（ランチあり）	10 時〜	泊地
同上	信号弾（発煙筒）実射講習会		13 時〜	安全
11/22	合同委員長会議		13 時〜	広報
12/6	総会	NICC 大ホール	15 時〜	広報

・会計委員長：高倍副会長（プレステージ）

＊ ＊ここからは新会計委員長のページです！



(クラブ内部資料)

のお話し！！！！（会計だより）

今期、会計を自薦担当しますプレステージの高倍です、セーリングに出る事も無く BuraBure,PuraPura-余りに申訳無くチョットご奉公とします。

歴史ある会報を通じ¥にまつわるニュースが掲載されるのは稀では無いでしょうか。

そこで貴重な紙面を拝借し（会費）が（会費として）どの様に奏功しているのか 待ち遠しいセーリングシーズンを目前に、チョットお耳を一一と呼びかける次第です。

数字は H25 年実績を概数拝借しました

(Unit/¥)

(入口です、65000¥/boat)

所属舟艇は	?	56 艇	デス、
会費納入義務艇は	?	55 艇	デス、
では、未納艇は	一一	▼ 2 艇	残念ナガラ、
H25 年収入基本部分)		3445000	デシタ、
雑収入もチョット (自販機/物販)		69071	タスカリマスー (毎年期待は?デス)
準会員様は 27 名も		54000	アリガタイデス (大いに交流下さい)
そこで身の丈ですが	合計＝	3568071	多いと思う??
計算上チョット整数化しましょうか		3445000	これがIYCです。

(さて、出口です)

▽	水面賃貸料が	1205190	会費の30%を超えます、
▽	安全担保の業界交流費	50000	小型船安全協会、万に一つの策、
▽	LifeLine (電が水 AED-)	622046	概ね会費の20%近くです、
	皆さんの贅沢が生んだ産廃!!!!!!!	151000	Mottai naaaaaaiiii, !!!
	銀行への奉仕も少なながら	6719	利息チョッピリ、手数料はベニスの商人 ??
	計算上チョット整数化しましょうか	1877000	上位▽3項の合計です

*すぐお判りの様に、(会費未収+産廃)が負の遺産デス

ご理解頂いた様に会費の半分強は公費で消えます、それでは手元に残る純活動経費

1568000/y これを観てみましょう、

月にすると 130660-/ 日にすると4355-
艇あたり82- (53 boat)

雨の日も、風の日も、酷暑の日々も、1日 85¥ de 皆さんの艇はサービスを請けています、
台風の日にハーバーに来られた事はありますか？ お役目担当の方々は
黙々と、そして淡々と広報し一巡回し、細くとも社会に貢献し、知名を保ち一一
なかなか出来ませんぜ！ 0でも100でも無く一クラブを支える情熱でしょうか。
肯定的に各委員会の活動にご理解を一一これが本稿の命題一です。

ところで、カケイのお仕事は???? MuMu !!

予算の消費警戒！では無く一透明性の確保に微力出来れば一と思う次第です一
さて、

今年も前期同様の収入を前提に、合同委員長会(10名)合席合議を通じ
下記を予算化しました、皆様も集散で一が理想ながらカケイの信義をご理解頂き
執行をさせて下さい、 (H25 年度、万全の精査を致しました)

会長管轄	100000	広報管轄	165000	泊地管轄	300000
安全管轄	150000	運営管轄	100000	施設管轄	140000
社会貢献	50000	移動プロジェクト	20000	会計	8000
災害基盤	150000	予備費	115000	繰越計画	250000
公費	1965000	税・連動の物価増見込も要			

監査担当は置きません、合同委員長会で信頼出来る策を講じます一

最後にお願いです一



今年のクラブ会費一



正会員 65000yen 準会員 2000yen
銀行 三菱東京 UFJ 銀行 西宮支店
口座 イチモンジヨットクラブ
番号 普通 3600444



お支払期日は3月31日が×日です、

Oh Kini !!!

我々のチャレンジ逃れられない話題から、

前段では、会員が拠出する年間クラブ費とその作用一安全に各艇が係留され
それを支える委員皆様のご奉仕を話題とさせて頂きました。

現在の係泊地に移動以来8年前後の時間が流れ、概ねその前後に直面した
主として(要した経費)に就いて一記憶の多くが霧散しているのかと思うのです。
そこで、無用とのお叱りを覚悟で一ここに昨今の話題のヒトツ一(移動)に関連する
過去の事実をお知らせする事とします。

お金は大事、お金が救ってくれる課題は一多いですよ、

以下 (会報 2005年2月版 編集/広報 海鈴/高橋)からの転載です一

会計からのお知らせ一 (一部)

移動総予算

12月(注2004年)会報でお知らせした1200万円に以下が加わりました。

1、杭の打設	約900万円
2、手持ちアンカー使用が期待出来ず新規製作	300万円
3、歩道棧橋の新造数変更(40→59)で	400万円

以上により、総額2800万円となりました。

1、杭前金	500万円
2、棧橋材料一部	900万円
3、アンカー前金	300万円
4、水道関係	50万円

全て前払いです!!!! 合計 1750万円

さて、これから予想される直面課題は—上記項目通りとは成らないと想定
出来ませんが、

当時の将来対策預金 1300万円と現在の(定期/普通)預金に大きな
差はありません— (H26/Jan/01) 13941327¥

移動に直結する重要課題は—やはり—経費の確保/事前集金が
課題となる???—が本稿の主旨です、
どの様に節約するか—も当然の課題ナガラ—、 以上—

**尚、3月31日までに振り込みが無い会員には4月中に督促状を会計からお知らせします。
それでも振り込みが無い場合は特別負担金(規約6条の7項)を付加して請求させていただきます。(10000円)

*新安全委員長：SUNRISE 白井さん

ヨットは神大海事/山下先生の指導を受けディンギー
から始まり35年現在に至る。
土佐の海辺に育ち、海自に34年在籍、潮風を受ける
こと57年の海好き人間、
のんびりクルージングを楽しんでおります、
よろしく願いいたします。



*総会で確認した艇の移動について(規約55-56条)

合同委員長会で申請のあった「シーサー」を59番から45番の棧橋に移動を承認しました。
(事由は、西端の中型艇以下は波の影響が大きく、船体損傷の危険があるため)

*艇種/艇名変更：斎元さん

旧：マユミ /YAMAHA 30C
新：MIHO /YAMAHA 33C

1月4日、愛知県富貴港から、シングルハンドで、尾鷲港～
勝浦港～周参見港～和歌山マリーナシティーを經由して回
航して来ました。
大変、お疲れ様でした!



*「会友」制度導入について

永年クラブに貢献された会員に退会されても「会友」として、名簿に残し、会費は徴収しないが準会員と同じ扱いにする
制度を総会で承認されましたので2014年より導入いたします。

2014年より、杉本 弘さんが会友になりました。

*泊地移動プロジェクトチーム発足（1月11日）

・Project Team Leader：黒岡さん（スプラッシュ）

「泊地移動に向けて」 移動プロジェクトチーム 黒岡義一

早いもので旧泊地から現在の泊地に移動して9年になります。今又移動を求められ、一文字ヨットクラブの底力が試される時が来ました。私達はプロジェクトチームとして精一杯尽力致します。皆様方も是非ご協力いただきこの移動を成功に導きましょう。

・プロジェクトチームメンバー

黒岡 義一さん/チームリーダー（スプラッシュ）

村川 和弘さん（開成）

新谷 茂正さん（ハテナ）

森山 泰現さん（ウインドミル）

酒井 俊彦さん（盾）

渡辺 政昭さん（ディーブ）

嶋田 俊明さん（クレメンタイン）

宮本 欣明さん（ワンダラー）

谷河 省造さん（SSCC）

*泊地移動に関する2回目の「アンケート」について

- ・総会で記名により回答された会員を含めて52人から回答を頂きました。残念ながら4名は未回答です。52人のうち、49名は「クラブの移動方針に賛同し、付いて行く」でした。3名は「艇を売却又は廃棄して退会する」でした。

*尼崎港管理事務所との1月の事務折衝

- ・1月21日、急な呼び出しにより、小山会長と児玉副会長が出頭。

尼管の反応は・・・彼らが予想した以上の賛同者によりIYC側の本気度を再確認したようです。

尼管側も早速、受け入れ準備を始めるとのことで、次回はプロジェクトリーダーを紹介するために1月30日に黒岡リーダーを同行して尼管に行きます。

- ・1月30日、小山会長、児玉副会長、プロジェクトチーム：黒岡さん、谷河さん、酒井さんが同行

IYC側は、新泊地のサンプル図面を提示してプロジェクトチームが具体的に進めていると説明

尼管側も総論から各論へを歓迎し、具体的に行動を開始すると説明、IYC側に具体的な移動計画を文書化して提出を求められました。

一文字ヨットクラブ合同委員長会